

# りばーぴあ土岐川・庄内川&朝市2019 報告書

「りばーぴあ土岐川・庄内川」実行委員会

## 1. 開催日時

令和元年10月20日(日) 午前9時～午後2時

## 2. 開催場所

愛知県清須市西枇杷島町北枇杷池15-1 清須市庄内川水防センター・庄内川

## 3. 参加者

総数 500人

## 4. 内容・スケジュール

09:00 朝市開会と同時に出展プログラム始動。

- ・「ごへだ」：前日から準備して頂いた250本のごへだは完売。
- ・「庄内川源流米の引き渡し」：30kg、10kg合わせて51袋を無事に引渡完了。
- ・「源流の物産販売」：恵南森林組合のトマトや林産物完売。
- ・「源流間伐材のマイ箸づくり」：終日引きを切らない客足。
- ・土岐川・庄内川・藤前干潟水族館：土岐川観察館、NPOサポセン、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会三者による共同出展、「タッチプール」「カニ釣り」最後まで大盛況。
- ・防災コーナー：相次ぐ災害のため、予定していた照明車は阿武隈川へ出動したため展示できなかったが、庄内川河川事務所、庄内川災害対策協力会の協力で展示、パトロールカーの記念写真は子どもに人気。
- ・草そり：前日までの雨のため、法面のコンディションが悪いため運営を中止した。
- ・子ども縁日コーナーも、有料にも関わらず大盛況。

09:30 土岐川・庄内川りばーぴあ&朝市式典2019開会

- ・司会 長谷川パンダさんの司会で定刻に開会。
- ・開会挨拶 林実行委員長挨拶
- ・来賓挨拶 永田純夫清須市長、浅沼功庄内川河川事務所副所長
- ・メッセージ 古川雅典多治見市長

09:45 我がまちの土岐川・庄内川自慢コーナー

- ・恵那市・(有)東海バイオ取締役副社長 柘植清成さん：「バイオ肥料」が庄内川流域各地から集まった草木からできていること。庄内緑地でバイオ肥料の生産が始まったことを報告し、清須市でも生産できるようになることを願っている。と発言。
- ・恵那市・恵南森林組合理事長 勝滋幸さん：庄内川最上流の山の管理が、働き手がいなくなり、大変な状況になるとの報告のあと、きれいな土岐川・庄内川を維持するには山林がしっかりしていないといけないと思い頑張っている。と発言。
- ・名古屋市・藤前干潟クリーン大作戦実行委員会実行委員長 坂野一博さん：土岐川・庄内川の最下流に広がる「藤前干潟」を15年前から清掃していることを報告のあと、10月26日に第31回の藤前干潟クリーン大作戦を行うので参加して下さい。と訴えました。

- ・まとめ・庄内川河川事務所浅沼副所長：3人の自慢話に触れながら、りばーぴああの中の三つの目標・「洪水に強い庄内川、環境に優しい庄内川、ふれあいのある庄内川」を皆さんと進めて行きたいと力強く宣言。
  - ・最後に発表者3名と浅沼庄内川河川事務所副所長が壇上で手をつなぎ大きく掲げて、共に協力して進める決意を示した。
- 10:10 土岐川・庄内川、防災子どもクイズ大会は、進行責任者に溝口さん(NPO土岐川・庄内川サポートセンター)、出題・解説者は、庄内川河川事務所渡辺グループ長、清須市の着ぐるみ「うるるん」が判定者になって4問出題し、子ども防災博士誕生をめざした。  
子ども参加は、約40名。見事に全員が、全問正解で「子ども防災博士」となり、賞品の「ハッピーホイッスル」等をゲットした。
- 10:45 Eポート体験の第1陣が、庄内川河原へ移動。  
(公財)河川財団名古屋支所の協力による2艘(定員8名)のEポートで各3回延べ6回のEポート体験を48名が楽しみました。漕艇から帰ってきた子どもは、「楽しかった!」と興奮気味に発言し、父親は「十分楽しめたようです」と話していました。
- 11:10 Eポートと同時に中央ステージでは、協力団体・参加団体・朝市出展者が、パフォーマンスとアピールを行った。  
土岐川・庄内川・藤前干潟水族館、手握りごへだの会、朝市を代表した歌の披露、源流間伐材マイ箸づくり、庄内川源流米の面々が、それぞれの取組を発表し、来場を訴えましました。
- 12:00 食味体験  
NPO土岐川・庄内川サポートセンターが、みずとぴあ前の庄内川で釣ったり、捕ったりした「マハゼ」と「テナガエビ」の「食味体験」を昨年に続いて行った。  
「食味体験」のアナウンスがあると、多くの方が本部テント前に集まり、用意した400匹の「マハゼ」「テナガエビ」はあっという間に売れ切れしました。  
「テナガエビ」も「マハゼ」を圧倒的な人が「うまい」と答えていました。
- 13:00 長谷川パンダライブ  
いつもの通り優しい心和むライブ。
- 13:50 閉会のことば(挨拶)  
中島佳郎土岐川・庄内川流域ネットワーク・堀川まちネット副理事長が、「まとめの挨拶」をしてお開きとしました。
- 14:00 閉会・撤収作業

## 5. 取組の成果と総評

「りばーぴあ土岐川・庄内川&朝市2019」は、10月20日(日)、前日までの雨も上がり、好天に恵まれ、「堤防そりすべり」(堤防湿潤のため滑降不可能)以外は、すべてのプログラムを事故なく無事に実施できた。また、展示を予定して「災害対策車・照明車」が、東北・阿賀野川の災害現地に緊急出動したため叶わなかったが、そのことが災害の危機を、参加者に肌で感じることになった。

官民の「協働」により、市民目線で「りばーぴあ庄内川」を継承する目標を達成した。

上下流の各団体が集い各取組を成功させたことで、①めざそう洪水に強い土岐川・庄内

川、② とりもどそう清流とふれあいのある土岐川・庄内川、③ 築こう地域に貢献する土岐川・庄内川 の三つの目的をアピールし、参加者の共通認識にすることができた。合わせて、流域一体となって、目的達成めざす意志と姿勢を示すことができた。

今回の取組を通じて市民団体として上流と下流で「りばーぴあ」を継承・発展する意志を確認できた。

## 6. 各取組の写真

### (1) 記念式典



林巖実行委員長挨拶



永田純夫清須市長



浅沼功庄内川河川事務所副所長



古川雅典多治見市長メッセージ

### (2) 我がまちの土岐川・庄内川自慢



4人そろってりばーぴあ精神をアピール！



↑ 柘植清成東海バイオ副社長（左）、勝滋幸恵南森林組合理事長（中）、坂野一博藤前干潟クリーン大作戦実行委員長（右）

### (3) 土岐川・庄内川防災子どもクイズ



参加者全員が子ども防災博士に！



賞品は「ラッキーホイッスル」&パズル



(4) Eボート体験 <Eボートは(公財)河川財団名古屋事務所のご協力による>



Eボート漕艇の安全講習会



さあ！力合わせて漕ぎ出そう！

(5) 防災コーナー



パトロールカーとパネル展示



パトロールカーで記念写真！

(6) マイ箸づくり



親子でマイ箸づくり



(7) 土岐川・庄内川・藤前干潟水族館・別館



土岐川・庄内川・藤前干潟の生物が一堂に！



カニ釣り、タッチプールは子どもが！



(8) 庄内川の魚食味体験



テナガエビ、ハゼ 400 匹、売れ切れ！



(9) 長谷川パンダライブ



心和む、うたごえ！

(10) 出展団体からのアピール



左から土岐川観察館、NPO 土岐川・庄内川サポートセンター、手  
握りごへだ、庄内川源流米、朝市の代表がアピール。



(11) リバーぴあ土岐川・庄内川&2019 全景と実行委員会の出展ブース



【主催】 「リバーぴあ土岐川・庄内川」実行委員会

【後援】 恵那市、瑞浪市、土岐市、多治見市、瀬戸市、清須市、春日井市、名古屋市、あま市、  
大治町、国交省庄内川河川事務所、庄内川災害対策協力会

【協力】 河川自然環境保全復元団体リバーサイドヒーローズ、恵南森林組合、多治見市土岐川観  
察館、(公財)河川財団名古屋事務所、清須市商工会

【支援(助成)】 一般社団法人中部地域づくり協会「令和元年度第2回地域づくり活動助成」